

## 藤井泰子 プロフィール

### YASKO FUJII

広島県出身のソプラノ。深みのある声と演技力に定評がある。幼少よりピアノ・フルートを学び、高校時代、田原祥一郎の指導のもとに声楽を始める。

慶應義塾大学総合政策学部卒業後、日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。イタリア政府給費を得てボローニャ元王立音楽院で学んだのち指揮者ジョセフ・ジャルディーナのもとで鑽を積む。ペトウルツェリ劇場及びフォッジャ州オペラ研究所奨学生、サルツォのマグダオリヴェーロ・オペラ国際コンクールに優勝。

ルーマニア・ガラーツィ市立劇場およびコスタンツァ歌劇場「蝶々夫人」でデビューして以来、ローマ歌劇場、フォッジャ・ジョルダノ劇場、フィラデルフィア・プリンスシアター、トリエステ歌劇場、スポレート・メリッソ劇場、キエーティ・マルチーノ劇場、モーツァルト音楽祭、ルーマニア・ガラーツィ市立劇場、ロッシーニ歌劇場管弦楽団、ペトウルツェリ歌劇場管弦楽団、ベイ ルート・アルブスタン音楽祭、マドリッド・サンフェルナンド美術アカデミー、カラガンダ交響楽団、バチカン復活祭、ローマ市生誕記念祭などとコラボレーションしてヨーロッパを中心に歌ってきた。

プッチーニ作曲「ボエーム」「蝶々夫人」「ジャンニ・スキッキ」「マノン・レスコー」「トゥーランドット」、ビゼー「カルメン」、レオンカヴァッロ「道化師」、ジョルダノ「アンドレア・シェニエ」、モーツァルト「アポロとヒヤシンス」「フィガロの結婚」「コシ・ファン・トゥッテ」「ドン・ジョヴァンニ」、アメリカ作曲家協会「デカメロン」、ペディーニ「ヤーゴ」のオペラの主要役、また交響楽ではベートーベン「第九」モーツァルト「レクイエム」メンデルスゾーン「真夏の夜の夢」ロッシーニ「スターバトマーテル」ボッケリーニ「スターバトマーテル」ハイドン「戦争ミサ」バルトルッチ「洗礼」などのソリストをつとめる。

2015年アッシジのカテドラルで開催された原爆投下70周年平和コンサートは衛星放送RAIにて放映された。バレエと声楽を融合した舞台作品「サロメ・エピローグ」「ファリネッリ」でエトワールのアレッサンドロ・モリン、ジュゼッペ・ピコーネとの各地での公演、国際的俳優ジャンカルロ・ジャンニーニやミケーレ・プラチドとのコンサート共演もある。

イタリア国営放送局RAIおよび他局で放映のコンサートやドラマ「刑事犬REX」へ出演するなどテレビでも活動し、2012年からはロングラン高視聴率番組「Avanti un altro!」にレギュラー出演中である。

近年、日本では池田理代子演出の「椿姫」「かぐや姫と帝の物語」の主演や歌舞伎舞台を使った京都春秋座オペラシリーズの主演、オーチャードホールを皮切りとした「バチカンより日本へ～祈りのレクイエム」各公演でソプラノ・ソロをつとめている。出身地の福山シティオペラ公演にも毎年意欲的に参加している。